

研 究 活 動

(2008年10月～2009年9月)

心理学科

池田豊應

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(10) —愛知学院大学での10年間の歩み—	共著	2009年3月	愛知学院大学, 心理臨床研究, 第10号	池田豊應, 原賀学, 松本大輝	pp.65-74
2. 述語分析 —投映法反応などの逐語記録に関する新たな解釈手順の提案—	共著	2009年3月	愛知学院大学, 心理臨床研究, 第10号	桃木徳博, 池田豊應	pp.21-45
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(39) —2008年度ヨコ体験グループのまとめ—	学会発表	2009年5月	東海心理学会第58回大会, 南山大学	池田豊應, 古川恵里, 石丸千絵, 梶山阿紀奈, 原賀吏佐子, 井上丈夫, 熊谷直人, 堀川聡	p.28
2. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(40) —満足度アンケートの整理—	学会発表	2009年5月	東海心理学会第58回大会, 南山大学	池田豊應, 宮本崇弘, 河合謙, 鳥本麻衣, 石牧良浩, 亀島照佳, 松本大輝	p.29
3. 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(41) —個別面接・グループ活動を併用した事例についての一考察—	学会発表	2009年5月	東海心理学会第58回大会, 南山大学	池田豊應, 鈴木規浩, 島中里香, 鶴田樹, 亀島亜矢子, 原賀学, 桃木徳博	p.30

伊藤元雄

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 幾何学的形態に対する視覚誘発電位 —刺激提示位置の効果(2)—	単著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号		pp.9-15
2. 縦縞, 横縞パターンが視覚誘発電位に及ぼす影響 —空間的方位と大きさの効果—	単著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号		pp.1-7

岡本真一郎

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 関係とコミュニケーション(ポライトネス)	分担執筆	2009年1月	ひつじ書房	大坊郁夫, 永瀬治郎(編)	pp.38-59
2. 健康リスク・コミュニケーションの手引き(第2章 リスク・コミュニケーションの言語表現)	分担執筆	2009年7月	ナカニシヤ出版	吉川肇子(編)	pp.18-39
3. 危機管理マニュアル どう伝え合うクライシスコミュニケーション	共著	2009年9月	イマジン出版	吉川肇子, 釘原直樹, 岡本真一郎, 中川和之	

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 認知, 言語, コミュニケーション: 最近の研究の展望	単著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号		pp.27-33
2. 新型インフルエンザ発生時におけるクライシスコミュニケーションの問題	共著	2009年7月	日本医事新報, No. 4447	吉川肇子, 釘原直樹, 岡本真一郎	pp.96-102
3. クライシスコミュニケーションはなぜうまくいかないのか - 危機管理における二つの人間観	共著	2009年9月	日本医事新報, No. 4456	吉川肇子, 釘原直樹, 岡本真一郎	pp.95-99
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 社会心理学事典(言語コミュニケーション)	項目執筆	2009年6月	丸善	大坊郁夫(編集長)	pp.258-259
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 皮肉伝達における透明性の錯覚	学会発表	2009年10月	日本社会心理学会50回大会, 大阪大学	岡本真一郎	

生越達美

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 「うつ」を考える - いわゆる軽症うつ病を中心に-	単著	2009年1月	産業保健愛知38号	愛知産業保健推進センター	pp.4-7
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年10月	愛知県立中村高校	生越達美	
2. 愛知県自立支援事業運営協議会	アドバイザー	2008年10月	愛知県自治センター会議室	生越達美	
3. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年10月	愛知県立犬山高校	生越達美	
4. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年10月	愛知県立春日井商業高校	生越達美	
5. 講演: 「職場におけるメンタルヘルス」	講演	2008年11月	名古屋高等裁判所	生越達美	
6. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年11月	愛知県立中村高校	生越達美	
7. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年11月	愛知県立犬山高校	生越達美	
8. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年11月	愛知県立春日井商業高校	生越達美	
9. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年12月	愛知県立中村高校	生越達美	
10. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年12月	愛知県立犬山高校	生越達美	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
11. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2008年12月	愛知県立春日井商業高校	生越達美	
12. 講演とセミナー：「発達障碍とは？」	講演	2009年1月	愛知県立中村高校	生越達美	
13. 講演：「職場適応をめぐる」	講演	2009年2月	H工務店(名古屋支社)	生越達美	
14. セミナー：復職支援プログラム	講演と入門指導	2009年3月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
15. 自主シンポジウム：「産業領域」	シンポジスト	2009年5月	愛知県臨床医心理士会総会	生越達美	
16. 産業医継続研修会：「リワークプログラムをめぐる」	講師	2009年6月	愛知県医師会館	生越達美	
17. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2009年6月	愛知県立瑞陵高校	生越達美	
18. セミナーと講演：「「うつ状態」について」	講演	2009年7月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
19. セミナーと事例検討	アドバイザー	2009年8月	愛知産業保健推進センター	生越達美	
20. 立川小雪発表「二つの世界を行き来する女子中学生とのコラージュ療法」へのコメント	コメント	2009年8月	日本コラージュ療法学会第1回大会	生越達美	
21. 臨床心理士資格認定協会指定校連絡協議会		2009年9月	東京	生越達美	
22. 愛知県自立支援事業	アドバイザー	2009年9月	愛知県立瑞陵高校	生越達美	

酒井亮爾

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 小学校におけるいじめ(1)	単著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号		pp.17-25
2. 小学校におけるいじめ(2)	単著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号		pp.39-48

杉下守男

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 日本臨床動作学会認定臨床動作法研修会	講師	2008年12月6日～7日	臨床動作法関西ワークショップ2008, 京都	講師：成瀬悟策, 鶴光代, 杉下守男, 宮田敬一, 宮脇宏司他	
2. 臨床動作士, 認定動作士資格者研修会	代表世話人	2008年12月20日～21日	日本臨床動作学会第10回資格者研修会, 名古屋	事務局長：杉下守男	

高木浩人

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 幸せな高齢者としての生活(第8章「仕事と生きがい」を執筆)	分担執筆	2009年7月	ナカニシヤ	唐沢かおり・八田武志(編著)	pp.169-191
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 企業の管理職適性を測定する「行動力」質問紙の開発	共著	2009年9月	産業・組織心理学研究, 第23巻	川西千弘・高木浩人	pp.61-72
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 社会心理学事典	分担執筆	2009年6月	丸善株式会社	日本社会心理学会(編)	pp.352-353
2. 産業・組織心理学ハンドブック	分担執筆	2009年7月	丸善株式会社	産業・組織心理学会(編)	pp.184-187

田畑 治

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 臨床心理学	共著	2009年1月	ミネルヴァ書房	伊藤良子編	pp.176-182
2. ケースブック：心理臨床の倫理と法	共著	2009年3月	知泉書館	松田純, 江口昌克, 正木祐史編	p.38
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 致命性・“非日常性”の場・聴くということ(臨床心理学のキーワード)	単著	2009年1月	金剛出版, 『臨床心理学』雑誌		pp.124-126
2. 子は自ら育つように, 関係を構築し, 維持すること	単著	2009年4月	金剛出版, 精神療法(てらぺいあ)		p.162
3. 平成21年度・臨床心理士研究助成事業に向けて	単著	2009年7月	臨床心理士報, 第20巻第2号		pp.17-18
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 高齢者心理臨床をどう考える 一簡易認知機能検査をどう生かすか	※	2009年5月	愛知県臨床心理士会総会ならびに一日研修会, 愛知淑徳大学		
2. 生徒指導領域における臨床心理士の役割とは?	※※	2009年8月	第14回学校臨床心理士全国研修会, 立正大学	企画者: 山口力 話題提供者: 加藤宏基 指定討論者: 羽根啓一, 橋本和明	
3. 橋詰郁恵(九州大学)の研究発表: 中学生の“自己”および“友人”の見せかけの自己表現の認知とストレス反応	口頭発表 司会	2009年8月	日本人間性心理学会第28回大会, 法政大学		
4. 東海林渉・三船奈緒子・佐藤恵子(東北大学)の研究発表: 児童用コミュニケーションスキル尺度の開発	口頭発表 司会	2009年9月	日本心理臨床学会第28回大会, 明治学院大学		

※ 会員企画自主シンポジウム・コメンテーター
 ※※ 参加者企画シンポジウム・司会

千野直仁

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Tests for Symmetry in Asymmetric MDS	分担執筆	2008年12月	<i>New Trends in Psychometrics</i> , Tokyo: Universal Academy	Chino N	pp.33-40
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Analysis of risk factors for dental caries in infants: a comparison between urban and rural areas	共著	2009年3月	<i>Environmental Health and Preventive Medicine</i> , 14	Ohsuka K, Chino N, Nakagaki H, Kataoka I, Oshida Y, Ohsawa I, Sato Y	pp.103-110
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Controlling the two kinds of error rate in selecting an appropriate asymmetric MDS models	学会発表	2009年3月	The 6th International Conference on Multiple Comparison Procedures, Tokyo	Chino N, Saburi S	
2. Features of quasi-symmetry-like asymmetric MDS models and independence of some tests for symmetry	学会発表	2009年8月	日本行動計量学会第37回大会発表論文集	Chino N, Saburi S	
3. 複雑性データの分析	指定討論者	2009年8月	日本行動計量学会第37回大会	千野直仁	
4. 認知と行為は相互作用しながら発達する—エンボディド・スキル・ダイナミクス—	指定討論者	2009年8月	日本心理学会第73回大会	河合優年, 中川正宣, 千野直仁	
5. 日本における数理心理学の展開 XVI	指定討論者	2009年8月	日本心理学会第73回大会	千野直仁, 中川正宣, 岡本安晴, 武村和久, 森周二, 山岸候彦, 浅川伸一, 椎名乾平	

八田純子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 中高年者の自己効力感が高次脳機能の維持に及ぼす影響	共著	2008年12月	人間環境学研究, 第6巻2号	岩原昭彦, 八田武志, 伊藤恵美, 永原直子, 八田武俊, 八田純子, 浜島信之	pp.65-74
2. 年齢による化粧行動と自意識	共著	2009年6月	人間環境学研究, 第7巻1号	八田武俊, 八田純子, 岩原昭彦, 永原直子, 伊藤恵美	pp.61-66
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. ICFを活用したアセスメントの試み～社会福祉と臨床心理の協働をめざして～	シンポジスト	2008年11月	愛知学院大学心理・臨床教育相談室第9回公開シンポジウム, 日進	八田純子	
2. 食べる～心理学の視点から～	講師	2009年6月	愛知学院大学平成21年度公開講座「『食』と健康—22世紀に向けて—」, 日進	八田純子	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
3. 年齢による化粧行動と自意識	学会発表	2009年9月	日本応用心理学会第76回大会, 九州大学	八田武俊, <u>八田純子</u>	
4. 対人関係を育むソーシャル・スキル	講師	2009年9月	ラフ(アスペルガー症候群・高機能自閉症児の家族の会)講演会, 豊田	<u>八田純子</u>	